

## 演劇専門部

専門部委員長 岡田 篤 (福島東稜高等学校)

演劇専門部は「福島県高等学校演劇連盟」として、県北・県中・県南・会津・いわき・相双の6地区48校の加盟校で活動しています。

主な活動は、①6月に各地区で行われる「発表会」、②夏季休業中にプロの演劇人講師を招いて演技力の向上を目指すために2泊3日で行われる「夏季研修会」、③10～11月に各地区で行われ、県大会出場を目指す「地区コンクール」、④各地区より推薦された舞台作品をコンクール形式で競い、東北大会や全国大会へとつながる「県コンクール」(11月末)の開催の4つです。

まずは、2018年12月21日～23日に秋田市民文化会館にて開催された「第51回東北地区高等学校演劇発表会」にて、ふたば未来学園高等学校が最優秀賞を受賞し、2019年7月佐賀県で開催される第43回全国高等学校総合文化祭に出場することが決まりました。演目は「Indrah～カズコになろうよ～」です。マレーシアからの留学生であるインドラさんが演劇部に入部し、言葉の壁を乗り越えながら部員たちと賑やかしく日常を生活していきます。8年前の「当時」や自分たちの家族について振り返りながらも、自分たちの「今」をリアルの語る生徒たちの姿は、登場人物や場面の移り変わりの多い構成劇という手法の妙とも相まって、観客を彼らの「物語」に引き込んでいきます。観客も含めて改めて「家族」という存在と向き合うことの重要さに気づかされる作品でした。残念ながら、インドラさんは2月にマレーシアに帰国してしまいましたが、この物語がまたどのように新たに創作されていくのかが、とても楽しみです。

ところで演劇は、常に「今」という時代を映す鏡であるといえます。とくに「高校演劇」は作り手である高校生が、今何を感じ、何を考えているのかがストレートに舞台上に表現されます。それは友達との楽しい語らいやささいなケンカで

あったり、あるいは家族のことや将来のことであつたりと、その時代や生活を背景にした高校生たちの「息づかい」なのです。今年度の県コンクールにおいても、実に多くの高校生たちの「思い」と「表現」が見られました。例えば「いじめ」や「差別」などは、現代はもちろん、W.シェークスピアの時代であっても存在したのです。そのような普遍的な問題にも正面から向き合い、きちんと光を当てて訴えていくことが演劇の役割の一つかもしれません。

### 1. 各地区発表会・コンクール記録

#### ●県北地区 (加盟校11校)

発表会 6月16日(土)～17日(日)  
会場：福島テルサ

コンクール 10月27日(土)～28日(日)  
会場：福島テルサ

#### ●県中地区 (加盟校10校)

発表会 6月20日(水)～22日(金)  
会場：郡山中央公民館

コンクール 9月26日(水)～28日(金)  
会場：三春交流館まほら

#### ●県南地区 (加盟校7校)

発表会 6月9日(土)～10日(日)  
会場：白河市文化交流館コミネス

コンクール 10月27日(土)～28日(金)  
会場：白河市文化交流館コミネス

#### ●会津地区 (加盟校8校)

発表会 6月14日(木)～15日(金)  
会場：會津風雅堂

コンクール 9月19日(水)～20日(木)  
会場：會津風雅堂

#### ●いわき地区 (加盟校8校)

発表会 6月23日(土)～24日(日)  
会場：いわき芸術文化交流館アリ

オス  
コンクール 10月27日(土)～28日(日)  
会場：いわき芸術文化交流館アリ  
オス

●相双地区(加盟校4校)

発表会 6月23日(土)  
会場：浮舟文化会館  
コンクール 10月13日(土)  
会場：さくらホール

2. 第40回福島県高等学校演劇連盟「夏季研修会」

日時：平成30年8月17日(金)～19日(日)  
会場：国立磐梯青少年交流の家  
講師：劇団青年座  
目的：約150人の参加者を7つの班に分け、プロの講師より直接演技指導を受けることにより演技力の向上を目指す。また、学校・地区を超えた部員同士の交流も図る。

3. 第69回福島県高等学校演劇コンクール

日時：平成30年11月23日(金・祝)～25日(日)  
会場：とうほう・みんなの文化センター  
(福島県文化センター)

〈上演作品〉※上演順

1. 安達高校  
「先生、放課後って何時までですか」  
作：大渕 秀代、潤色：安達高等学校演劇部
2. 会津高校  
「YELL」  
作：目黒 詩織、潤色：遠藤 楓
3. 磐城高校  
「志望理由書」  
作：いぐりんとその仲間達、潤色：磐城高校演劇部
4. 日本大学東北高校  
「RUN! RUN!! RUN!!!」  
作：緑川可弥子、潤色：日本大学東北高校演劇愛好会

5. 白河実業高校  
「コスメ、壊れました。」  
作：筒井 美里、潤色：白河実業演劇部、かなざわなおと
6. 尚志高校  
「沈黙の陽炎」  
作：音喜多由記子、潤色：尚志高校演劇部
7. 白河旭高校  
「志望理由書」  
作：いぐりんとその仲間達、潤色：白河旭高校演劇部
8. 橘高校  
「道化師の歌が聴こえる」  
作：渡辺 和徳、潤色：橘高校演劇部
9. 会津学鳳高校  
「こきゅう」  
作：樋口 裕樹
10. ふたば未来学園高校  
「Indrah ～カズコになろうよ～」  
作：ふたば未来学園高校演劇部
11. 福島南高校  
「夜空より暗い、あの河をこえて」  
作：矢野 青史
12. 福島北高校  
「表裏一体」  
作：えだまめ、潤色：福島北高校演劇部
13. いわき総合高校  
「#ワスレモノ BOX」  
原案：いわき総合高校演劇部、構成・脚本：遠藤 崇
14. あさか開成高校  
「SHIROCK」  
作：ぼぶ☆れのん、潤色：あさか開成高校演劇部

〈大会結果〉

- 最優秀賞校 あさか開成高校  
優秀賞第一席 ふたば未来学園高校  
優秀賞第二席 日大東北高校

優秀賞第三席 磐城高校  
 同上 会津学鳳高校  
 同上 福島南高校  
 創作脚本賞 えだまめ（福島北高校）  
 スタッフワーク賞 尚志高校  
 演技奨励賞 筒井 美里（白河実業高校）  
 豊岡絵里梨（尚あい志高校）  
 吉田 竜（白河旭高校）  
 橋本 歩（橘高校）

渡辺 羽由（福島南高校）  
 優良賞（上演順） 安達高校 会津高校  
 白河実業高校 尚志高校  
 白河旭高校 橘高校  
 福島北高校 いわき総合高校

※東北大会にはあさか開成高校とふたば未来学園高校を推薦。

※日本大学東北高校を福島県高等学校総合文化祭「活動優秀校公演」に推薦。



あさか開成高校「SHIROCK」



ふたば未来学園高校「Indrah ～カズコになろうよ～」



日本大学東北高校「RUN! RUN!! RUN!!!」



福島南高校「夜空より暗い、あの河をこえて」

## 高音連

専門部委員長 菅原 民栄 〈修明高等学校〉

高音連（福島県高等学校音楽連盟）専門部は、68年という長い間、福島県の音楽活動を担ってきた組織です。合唱専門部、吹奏楽専門部、器楽・管弦楽専門部、日本音楽専門部、マーチング専門部の5専門部を束ねる他、高文連郷土芸能専門部の一部（和太鼓）も高音連に属しています。ここには、あらゆる音楽に携わる生徒、教師、音楽を愛好しその文化を育て守ろうとする多くの方々の思いが詰まっています。

高音連に所属する個人および団体は、音楽を愛する気持ちを持ち、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチング、日本音楽の各分野において、思い描く最良の演奏を目指して練習を重ねています。しかし、練習だけでは演奏技術の伸長が不透明なため、各団体主催による演奏会をはじめ、コンクール等において披露する場を設けることで、音楽性の向上を図ってきました。勿論、高校生の部活動という点を十分に考慮し、それぞれの目標に向けて一丸となる大切さと難しさを体現しています。それらのすべてを乗り越えて、演奏があります。そのわずかな時間に、それまでの全てを賭ける高校生の姿は、分野と演奏人数の大小に関わらず、とても美しくかけがえのないものとなっています。

高音連は、福島県で音楽を愛好する全ての高校生のために、全県規模の音楽祭を毎年6月に1回、各支部においては、県北、県南、会津では年に一度、いわき、相双では年に2回開催しています。高音連加盟校数は平成30年度は83校で、延べ4,281名の加盟生徒数を有しています。本年は、6月21日(木)・22日(金)の2日間、県北地区で第68回福島県高等学校音楽学習発表会が、とうほう・みんなの文化センターと福島市音楽堂の2会場で盛況のうちに開催されました。平成31年度は、いわき地区で第69回福島県高等学校音楽学習発表会が6月19日(水)、6月20日(木)、6月21日(金)の3日

間、いわき芸術文化交流館アリオスで開催されます。入場は無料です。是非とも多くの方にご来場いただき、若さと躍動感あふれる演奏から、高校生が音楽を通して伝えたい何かを感じ取っていただければ幸いです。これからも高音連（福島県高等学校音楽連盟）は福島県の音楽文化を守り育てる組織であり続けたいと思っています。

### 第68回福島県高等学校音楽学習発表会

(第37回福島県高等学校総合文化祭音楽部門)

日 程：平成30年6月21日(木)～22日(金)  
会 場：福島市音楽堂／とうほう・みんなの文化センター  
講 師：合唱部門  
上西 一郎 氏 (合唱指揮者)  
器楽・管弦楽部門  
金谷 昌浩 氏 (チェロ奏者)  
吹奏楽部門  
小塚 類 氏 (指揮者)  
日本音楽部門  
遠藤 千晶 氏 (生田流箏演奏家)

参加校：77校 127団体

参加生徒数：3,601名

### 各地区音楽学習発表会

○平成30年度県北地区高等学校音楽祭

日 程：平成30年5月26日(土)  
会 場：福島市音楽堂



- 平成30年度県南地区高等学校音楽祭  
日 程：平成30年6月1日(金)  
会 場：白河文化交流館コミネス
- 平成30年度全会津高等学校音楽学習発表会  
日 程：平成30年5月30日(水)  
会 場：會津風雅堂
- 平成30年度いわき地区高等学校前期音楽学習発表会  
日 程：平成30年6月6日(水)  
会 場：いわき芸術交流館アリオス



- 平成30年度いわき地区高等学校後期音楽学習発表会  
日 程：平成31年1月17日(木)  
会 場：いわき芸術交流館アリオス
- 平成30年度相双地区高等学校前期音楽学習発表会  
日 程：平成30年5月27日(日)  
会 場：鹿島生涯学習センター さくらホール
- 平成30年度相双支部後期音楽学習発表会  
日 程：平成31年1月26日(土)  
会 場：鹿島生涯学習センター さくらホール



## 合唱専門部

専門委員長 鈴木 敦〈安積高等学校〉

今年、合唱専門部の専門委員長3年目となった。福島県の高校生による合唱団の演奏技術の高さと層の厚さには毎年驚嘆しているところであったが、その特徴的な活動として、本県は広域のジョイント演奏会がとて多いことが挙げられる。

今年で通算29回目となる福島高校、安積高校、会津高校、磐城高校の旧男子校四校による四校連合定期演奏会。福島東高校、郡山高校、郡山東高校、喜多方高校、日大東北高校などによるジョイントコンサートは18回目。また、震災後、風評被害で福島県の農業が甚大な被害を受けた時、未来の福島県の農業を担う高校生が始めた、修明高校、会津農林高校、白河実業高校、福島明高校、安達東高校、岩瀬農業高校などによる「明日の農業を担う高校生による合唱コンサート」も9回目を数える。

もちろん、それぞれの学校が、それぞれの地域に於いて、昨年この場で紹介した郡山市高等学校合唱連盟のような、地域の高校生や小中学生とのジョイント演奏の機会があるにも関わらず、加えてこのような広域の活動が営まれているのである。生徒の特性、モチベーション、学校環境、編成、演奏形態…など何かしらの共通点をもつ学校の生徒同士が、地域の枠を超えて集まり切磋琢磨しながらともに刺激し合い向上しようとする。そこでは、物理的な隔たり故に十分な練習回数を確保できなかつたり、練習時間の短さ故に指導者と十分なラポートを築く間もなかつたりとリスクがあるのだが、共通の土台があることで、各校リーダーが学校の枠を超えて練習を主導する姿や、仲間意識と適度なライバル心により普段より主体的に練習に取り組む姿が見られる。さらには、普段指導を受けている先生とは異なる様々な先生の指導を受けることができることも魅力である。同じ作品に対する異なるアプローチを知ることは音楽表現の幅を広げることにつながるし、全く同じ内

容であったとしても、別な教員から異なる説明をうけることで理解が深化するものである。

本県の合唱を語る上で、この合唱専門部の先生方同士の仲の良さも特筆に値する。合唱専門部は音楽の教員が多く、高教研音楽部会やコンクール役員などでほとんどがお互い顔見知りであるのだが、昔からこのように和気藹々としていたわけではない。そこには、今年度で定年を迎えられる、高文連副会長の佐藤恵一先生をはじめとする諸先輩方が、個性あふれる音楽の教員をまとめ、みんなで切磋琢磨することの重要性を長年説いてきた積年の思いがあり、ここに結実したから今があるのである。

このような、本県の合唱専門部における貴重な風土が、現在の生徒の演奏を支えていると改めて実感した1年であった。

### 1. 平成30年度各種コンクールの記録

#### (1) 全日本合唱コンクール

##### ○第72回 福島県合唱コンクール

期日：平成30年8月31日(金)

会場：会津風雅堂

内容：県内の高等学校が参加し、日頃の練習の成果を披露した。

あわせて東北支部大会への選考が行われた。

成績：《金 賞》

会津高校、郡山高校、葵高校、安積黎明高校(混声)、会津学鳳中学・高校(女声)、福島東高校、橘高校(女声)、安積黎明高校(女声)、日大東北高校

《銀 賞》  
安積高校、福島高校(混声)、郡山東高校、橘高校(混声)、郡山女子大附属高校、喜多方高校

[以上金賞、銀賞受賞校が福島県代表]

《銅賞》

田村・須賀川・須賀川桐陽・白河実業  
高校合同（男声）、磐城桜が丘高校、  
会津学鳳中学・高校（混声）、いわき  
光洋高校、磐城高校、会津ザベリオ中  
学・高校、白河実業高校、田村高校、  
須賀川高校（女声）

○第70回 全日本合唱コンクール東北支部大会

期日：平成30年9月28日（金）

会場：多賀城市民会館

内容：東北6県の代表が出演し、全国大会へ  
の推薦団体を選考した。

成績：【Aグループ32名以下】

《金賞》

橘高校

《銀賞》

日大東北高校、安積高校

《銅賞》

福島高校

【Bグループ33名以上】

《金賞》

会津高校、郡山高校

[以上東北支部代表]

安積黎明高校（女声）、安積黎明高校  
（混声）

《銀賞》

会津学鳳中学・高校、橘高校（混声）

《銅賞》

福島東高校、郡山東高校、郡山女子大  
附属高校

○第71回 全日本合唱コンクール全国大会

期日：平成30年10月28日（日）

会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

内容：全国9支部の代表により演奏が行われた。

成績：【Bグループ33名以上】

《金賞》

郡山高校（文科大臣賞）、会津高校（長

野県知事賞）

(2) NHK 全国学校音楽コンクール

○第85回 NHK 全国学校音楽コンクール福島県大会

期日：平成30年8月21日（火）

会場：福島市音楽堂

成績：《最優秀》

会津高校、安積黎明高校、郡山高校

[以上福島県代表]

《優秀》

福島東高校、福島高校、日大東北高校、  
橘高校

《優良》

郡山東高校、須賀川高校、川俣高校、  
田村高校

○第85回 NHK 全国学校音楽コンクール東北ブ  
ロック大会

期日：平成30年9月10日（月）

会場：名取市文化会館

成績：《金賞》

安積黎明高校、郡山高校

[以上東北代表]

《銅賞》

会津高校

○第85回 NHK 全国学校音楽コンクール全国大会

期日：平成30年10月6日（土）

会場：NHK ホール

成績：《金賞》

郡山高校

《優良賞》

安積黎明高校

(3) 福島県声楽アンサンブルコンテスト

○第35回福島県声楽アンサンブルコンテスト

期日：平成30年12月7日（金）

会場：矢吹文化センター

内容：小編成（2名～16名）のアンサンブル  
を通して合唱やアンサンブルの基礎を  
身につける。

成績：《金 賞》

郡山高校A [全国大会推薦]、日本大学東北高校、郡山高校B、白河実業高校、安積高校B、安積黎明高校C、会津高校B、葵高校D、葵高校A、安積黎明高校A、安積黎明高校B

《銀 賞》

会津高校A、福島東高校、福島西高校、橘高校A、福島高校、会津高校C、湯本高校、会津学鳳中学・高校B、葵高校B、磐城高校A、田村高校、会津学鳳中学・高校A、郡山東高校B

《銅 賞》

橘高校B、磐城高校B、いわき光洋高校、郡山東高校A、安達高校、福島成蹊高校、清陵情報高校、本宮高校、会津学鳳中学・高校C、会津高校D、会津ザベリオ学園高校

#### (4) 声楽アンサンブルコンテスト全国大会

○第12回声楽アンサンブルコンテスト全国大会2018

期日：平成31年3月22日(金)

会場：福島市音楽堂

内容：福島県などが主催する全国規模のコンテスト。海外からの参加団体もある。高等学校の部で金賞を受賞すると、各部門の金賞受賞者による本選に出場でき、最高位の福島県知事賞を目指す。

成績：高等学校の部

《金 賞》

郡山高校、日本大学東北高校 [本選出場]

《銅 賞》

福島高校

本選 (小学校から一般までの全部門の金賞団体による)

《第2位》

郡山高校 [福島市長賞]

《入 賞》

日本大学東北高校

#### 2. 各音楽祭の概要

##### (1) 各地区音楽祭 (音楽学習発表会)

期日：平成30年6月

会場：県内4地区 4会場

内容：各学校の合唱、吹奏楽、器楽などが日頃の練習の成果を発表し、お互い鑑賞し合いながら交流を深めた。また中央より講師を招聘しその後の活動の指針とした。

##### (2) 第37回福島県高等学校総合文化祭音楽部門 第68回福島県高等学校音楽学習発表会

期日：平成30年6月22日(金)

於：福島市音楽堂

内容：講師に上西一郎氏を迎え47チームが参加して実施した。

#### 3. 講習会の概要

##### ○合唱講習会

期日：平成30年8月

会場：県内4地区 4会場

内容：支部ごとに合唱指揮者や声楽家などを講師として招聘し、学校ごとに直接指導を受けた。合唱コンクールへの練習の指針となった。

#### 4. 活動優秀校公演

##### ○第37回福島県高等学校総合文化祭 活動優秀校公演

期日：平成30年12月16日(日)

会場：とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター)

内容：福島高校、橘高校、福島東高校、福島明成高校、福島西高校、安達高校、安達東高校、川俣高校の合唱部が集まり、作曲家濱崎晋 (安達東高校教諭) の作品を演奏。瑞々しい感性あふれんばかりの演奏を行った。

## 吹奏楽専門部

専門部委員長 今野 貴文 〈ふたば未来学園高等学校〉

吹奏楽専門部は県北16校、県南25校、会津12校、いわき13校、相双7校の合計73校で組織され今年度当初の登録人数は2,202名でした。また、殆どの団体は全日本吹奏楽連盟会員である福島県吹奏楽連盟（小・中・高・大・職場・一般の部で構成される）にも同時に加盟しており、高文連の行事の他に、様々な場面で活動を展開しています。

今年度の活動は6月21・22日（木・金）には、高文連と高音連の年間の主要行事であります「第37回福島県高等学校総合文化祭〈音楽部門〉」・「第68回福島県高等学校音楽学習発表会」の吹奏楽部門の発表がとうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）にて開催され60団体1,968名が出場し、講師としてお招きした小塚類氏（指揮者）の講評を頂きました。吹奏楽連盟に加盟する団体にとって、夏から秋にかけて開催される吹奏楽コンクールは、年間行事の中で最も重要な行事です。この大会には全国で3,700校を超える高校が参加し、大編成部門は支部大会により選ばれた30校が出場できる全国大会、小編成部門（30名以下）は選ばれた18校が東日本学校吹奏楽大会（北海道、東北、東関東、西関東、東京、北陸の各吹奏楽連盟の主催）を目指します。大編成部門の全国大会は名古屋国際会議場での開催となっております。東北支部からは大編成は3団体のみが全国大会への代表枠となっておりますが、30年度は磐

城高校、湯本高校の福島県の2校が東北代表となり全国大会へ出場しました。小編成の全国大会の位置づけともなる東北大会へは原町高校といわき総合高校が出場し、原町高校が3年連続で東北代表となり東日本大会に出場し金賞を受賞しました。このことゆえに福島県の吹奏楽のレベルの高さを知ることができます。また、吹奏楽コンクールと並び吹奏楽連盟の重要行事としてアンサンブルコンテストもあります。2月に開催された東北大会には本県より磐城高校のサクソフォン六重奏、クラリネット八重奏、フルート四重奏、湯本高校のサクソフォン六重奏の4グループが出場し、磐城高校のサクソフォン六重奏が東北代表として選出され、3月に北海道・札幌コンサートホール Kitara で開催された全国大会に出場し銀賞を受賞しました。



アンサンブルコンテスト 磐城高校(サクソフォン六重奏)

福島県の高校吹奏楽界は、偉大な先人達が築いた伝統の下に東北6県の中でも特にレベルが高く、今後も各種大会にて好成績を修めることが期待されます。

35年余りの永きにわたり全日本吹奏楽コンクール全国大会は東京杉並区・普門館が開催会場でしたが、耐震強度不足により使用不能となり、2012年度より名古屋国際会議場に移っております。普門館は2018年に解体が始まりました。「吹奏楽の甲子園」と親しまれ吹奏楽に携わる中高生にとっては憧れの地であった「普門館」は、いつまでの



福島県高等学校総合文化祭〈音楽部門〉

私たちの心に沢山の名演とともに思い出として残り語り継がれていくことでしょう。

以下、平成30年度の吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

#### 〈県高文連・高音連行事〉

- (1) 第37回福島県高等学校総合文化祭音楽部門  
第68回福島県高等学校音楽学習発表会  
平成30年6月21・22日(木・金)  
於：とうほう・みんなの文化センター  
講師：小塚 類氏(指揮者)  
県内60校の吹奏楽部が演奏
- (2) 県内各地区高等学校音楽学習発表会(前期・後期)

#### 〈吹奏楽連盟行事〉

- (1) 第56回福島県吹奏楽コンクール各支部大会  
平成30年7月7・8日(土・日)、  
14・15・16日(土・日・月)  
会場：県北、県南、会津、いわき、相双の県内  
5支部各地で開催
- (2) 第56回福島県吹奏楽コンクール  
於：いわき芸術文化交流館アリオス
  - 平成30年7月26日(木)  
高等学校小編成の部  
金賞：原町、いわき総合(以上県代表)、会津工業、尚志、喜多方、銀賞：喜多方、桜の聖母、福島商業、郡山北工業、ふたば未来学園、平工業、白河、保原
  - 平成30年7月28日(土)  
高等学校の部 第一部  
金賞：磐城、平商業、湯本、相馬(以上県代表)、須賀川桐陽、郡山、帝京安積、安積  
銀賞：いわき光洋、福島東、福島南、磐城桜が丘、若松商業、相馬東、安積黎明、会津、福島成蹊、安達、日本大学東北、白河旭
- (3) 第56回福島県吹奏楽コンクール高文連特別演奏会  
平成30年7月26日(木)

高等学校小編成の部

於：いわき芸術文化交流館アリオス

出演：小川佳津子(打楽器)、浦壁 信二(ピアノ)

- (4) 全日本吹奏楽コンクール第61回東北大会
  - 平成30年8月25日(土)  
高等学校の部  
於：リンクステーションホール青森(青森県)  
金賞：磐城、湯本(以上東北代表)、平商業  
銀賞：相馬
  - 平成30年9月8日(土)  
高等学校小編成の部  
於：北上市文化交流センター「さくらホール」(岩手県)  
金賞：原町(以上東北代表)、いわき総合
- (5) 第18回東日本学校吹奏楽大会  
於：仙台銀行ホール イズミティ21(宮城県)  
平成30年10月14日(日)  
金賞：原町
- (6) 第66回全日本吹奏楽コンクール  
平成30年10月21日(日)  
於：名古屋国際会議場センチュリーホール(愛知県)  
銀賞：磐城  
銅賞：湯本
- (7) 第46回福島県アンサンブルコンテスト  
平成31年1月20日(日)  
高等学校の部  
於：いわき芸術文化交流館「アリオス」  
金賞：磐城(サクソフォン六重奏)、磐城(フルート四重奏)、磐城(クラリネット八重奏)、湯本(サクソフォン六重奏)(以上4グループが県代表)、平商業(金管八重奏)(打楽器三重奏)(金管四重奏)、須賀川桐陽(金管八重奏)、福島東(フルート四重奏)、帝京安積(打楽器六重奏)(金管八重奏)、磐城桜が丘(木管三重奏)、橘(木管三重奏)、福島商業(サクソフォン四重奏)、原町(クラリネット)

ト八重奏) (金管七重奏)

銀賞：小高産業技術 (サクソフォン四重奏)、  
安達 (金管八重奏) (木管八重奏)、安積  
黎明 (金管八重奏)、相馬東 (金管七重  
奏)、会津 (金管五重奏)、相馬 (打楽器  
三重奏) (木管八重奏)、喜多方 (打楽器  
四重奏) (金管七重奏)、須賀川桐陽 (サ  
クソフォン四重奏)、郡山 (打楽器六重  
奏) (サクソフォン四重奏)、福島南 (フ  
ルート四重奏)、福島東 (クラリネット  
三重奏)、安積 (サクソフォン三重奏)、  
会津学鳳 (サクソフォン四重奏)

(8) 第46回全日本アンサンブルコンテスト東北大会  
平成31年2月9日(土)

於：仙台銀行ホール イズミティ21 (宮城県)  
金賞：磐城 (サクソフォン六重奏) ※東北代表  
磐城 (フルート四重奏)、磐城 (クラリ  
ネット八重奏)

銀賞：湯本 (サクソフォン六重奏)

(9) 第43回全日本アンサンブルコンテスト  
平成31年3月21日(木)

於：札幌コンサートホール Kitara (北海道)  
銀賞：磐城 (サクソフォン六重奏)



全日本吹奏楽コンクール全国大会 磐城高校



東日本学校吹奏楽大会 原町高校



吹奏楽コンクール東北大会 平商業高校



福島県吹奏楽コンクール 相馬高校



全日本吹奏楽コンクール全国大会 湯本高校

## 器楽・管弦楽専門部

専門部委員長 鈴木 敦〈郡山商業高等学校〉

本県の器楽・管弦楽専門部は、管弦楽・弦楽・ギター・マンドリン・シンセサイザー、ジャズなどの部活動が、個性あふれる演奏活動を日々展開しております。全国の仲間が集う「全国高等学校総合文化祭」では、珍しい所でトーンチャイム・バグパイプ・リコーダー合奏、ビッグバンドなど、吹奏楽専門部以外の形態で編成された多岐にわたる器楽合奏を一同に聴くことができます。それぞれの団体が趣向を凝らし地域に密着した活動を行う等、非常に興味深い専門部です。このような専門部特有の状況から、管弦楽やギターなどの分野では各々が全国大会に繋がるコンクールを実施しておりますが、総文祭においても一律に審査をすコンテスト形式では行われないため、自主公演を主軸とする演奏会中心の活動を行っているという点が、他専門部と大きく異なるところでもあります。

福島県内での大きな行事としては、6月に行われております各地区音楽祭や県音楽祭が挙げられます。今年度は県北地区開催ということで福島市音楽堂及びとうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）にて、各団体が日頃の活動の成果を披露いたしました。今回は特に管弦楽の分野において、この音楽祭の演奏で「日本学校合奏コンクール」全国大会への推薦団体を決定すると

いう新しい試みがあり、例年以上に各団体が力を入れて取り組み、それぞれの個性を遺憾なく発揮した感動的な演奏が繰り広げられました。1年生にとっては初めての大舞台ということもあり、緊張感溢れる雰囲気の中、一人ひとりが音楽に誠実に向き合う姿勢も見られ、普段はなかなか聴き合えない他校の演奏をじっくり味わうよい機会に恵まれました。運営を担当して下さった県北支部の先生方にはこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

もう一つの本県専門部としての重要な活動として、器楽講習会の実施が挙げられます。第一線で活躍している演奏家を招き、その演奏や指導に間近に触れることにより、演奏技術の向上を目指すという目的の下、毎年実施しております。数年間継続して弦楽器の講習会を行ってまいりましたが、各校の練習内容も充実し、本県弦楽器セクションの水準は着実に向上しておりました。今年度は県高文連からの更なる多大な支援の下、管弦楽におけるすべての楽器に講師を招聘して大規模な楽器別講習会を開催することができました。NHK交響楽団や東京シティフィルハーモニック管弦楽団を始め、日本を代表する数々のオーケストラで団員を務める演奏家達や、音楽大学で教えている演奏家など大変重厚な講師陣をお招きでき、各楽器の奏法についてきめ細やかに教えていただきました。どの楽器も日本を代表する演奏家から直接享受される練習法や、何より世界で活躍する先生方の素晴らしい音に包まれることで、生徒も教員も非常に感銘を受けました。特に弦楽器は日本フィルハーモニー交響楽団の先生方によるミニコンサートも披露していただき、演奏家として厳しく音楽に迫る姿勢を直接肌で感じる事ができた忘れられない体験となりました。また、専門部のほぼ全ての学校が参加したことにより、



器管専オケフェス

パートごとに生徒相互の交流や学校を超えた情報交換をする姿が数多く見られました。生徒達は自身の課題を発見し、今後の活動への更に高い目標や、技量の向上を目指した具体的な方策を発見したようで、大変充実した講習会となりました。今後も継続して本県専門部傘下の部活動が、地域を超えた交流を始めとする活発な参加が見込まれる魅力的な講習会にしていきたいと考えております。

今年度の第42回全国高等学校総合文化祭「信州総文」では、専門部代表として安積黎明高校クラシック部が出場いたしました。きめ細やかなアンサンブルは他県の関係者や審査員から数多くの賛辞が寄せられました。

本専門部の他の大会結果としては、第49回全日本ギターコンクールに福島成蹊高校ギター部が出場し、銀賞を受賞しております。また、けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）で開催された日本学校合奏コンクール全国大会2018グランドコンテストにおいて、郡山商業高校管弦楽団が出場し、昨年に引き続いての金賞を、また初出場となる橘高校は銅賞を受賞いたしました。併せて千葉県文化会館にて行われた同コンクールソロ&アンサンブルコンテストでは、安積黎明高校が銅賞を受賞しております。

また、管弦楽の部活動については専門部の垣根

を越えた活発な活動が広がりを見せております。郡山市では市内高等学校合唱部で組織された郡山市高等学校合唱連盟との合同演奏会である「たなばたコンサート」は第6回を数え、最終ステージでは映画音楽の大家J.ウィリアムズの作品を演奏し多くの聴衆の皆様にお聴きいただきました。また今年度の高文連活動優秀校公演では、福島高校と橘高校の合同オーケストラが、福島市内合同合唱団とともに信長貴富先生の作品である「楽譜を開けば野原に風が吹く」を披露し、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。このように最近は各校ともあらゆる演奏会に招聘される等、活動の広がりを見せております。また、年末には新宿で行われた第25回全国高等学校選抜オーケストラフェスタに福島高校管弦楽団と郡山商業高校管弦楽団が出場するなど、福島県を超えた全国規模の活動を展開しております。

その他にも、ギターマンドリン合奏のコンサートなど、それぞれの部活動が、地域になくてはならない活動を行っています。今後も音楽を通じた豊かな交流、そして専門部全体としての活性化を目指し、活動を行っていくとともに、各校が力を入れて取り組む定期演奏会を始め、たくさんの方々には私たちの専門部活動の演奏を聴いていただきたいと強く願っております。



器管専講習会



器管専講習会



器管専講習会



器管専講習会



器管専講習会

## 日本音楽専門部

専門部委員長 高橋真由美 〈磐城桜が丘高等学校〉

日本音楽専門部は、現在、磐城桜が丘高校・いわき総合高校・小名浜高校・原町高校の4校で活動している。加盟生徒総数は減少していないが、参加する学校がもっと増えて切磋琢磨することで、さらなるレベルの向上がはかれると思われるので、クラス減で部活動を減らさなければならない学校が多い状況ではあるが、新たな加盟校が増えて欲しいところである。

今年度の活動としては、連盟の補助のおかげで例年通り充実した活動を行うことができた。東京から箏演奏家の先生を講習会やコンクールに3名招くことができ、生徒たちは、いつもご指導いただいている講師の先生とはまた違った視点で自分たちの技術を見直すことができたのではないかと思う。

また、今年度全国大会に出場した原町高校は、昨年の磐城桜が丘高校と同様、審査員の講評においてA評価（参加校の25%、上位12位以内）を受け、本県の箏曲部の演奏のレベルの高さを全国の高校生に知ってもらえたのではないかと思う。

今年度の活動報告は、以下の通り。

### ① 全国高総文祭参加校実技講習会

第42回全国高等学校総合文化祭信州大会出場のため、原町高校が講師の先生よりご指導を受けた。

日 時：平成30年6月17日、7月2日、7月15日

場 所：原町高校

講 師：遠藤 千晶 氏（生田流箏演奏家）

### ② 全国高等学校総合文化祭日本音楽部門

原町高校が参加した。

日 時：平成30年8月8日 リハーサル

8月11日 本番

場 所：塩尻市文化会館レザンホール

演奏曲：「連なる」（沢井忠夫作曲）

参加生徒数：16人

大会成績：文化連盟賞、総合評価A

### ③ 実技講習会

コンクールに向けて、全加盟校が講師の先生よりご指導を受けた。

・磐城桜が丘高校（20名）、小名浜高校（4名）

日 時：平成30年10月21日（日）

場 所：いわき芸術文化交流館アリオス

講 師：遠藤 千晶 氏（生田流箏演奏家）

・原町高校（14名）、いわき総合高校（6名）

日 時：平成30年10月28日（日）

場 所：いわき総合高校

講 師：遠藤 千晶 氏（生田流箏演奏家）



コンクールに向けた講習会



コンクールに向けた講習会



コンクール最優秀の総合高校

④ 第11回日本音楽部門コンクール

日 時：平成30年11月6日(火)

場 所：アリオス 音楽小ホール

参加校：磐城桜が丘高校、いわき総合高校、小名浜高校、原町高校

審査員：船木伊十矢 氏 (山田流箏演奏家)  
遠藤 和奏 氏 (生田流箏演奏家)

最優秀校：いわき総合高校

いわき総合高校は初めての全国大会出場となります。



実技講習会 全国に向けて

⑤ 第8回三部門（日本音楽・郷土芸能・吟詠剣詩舞）合同発表会

場 所：いわきアリオス中劇場

参加校：(日本音楽) 磐城桜が丘高校箏曲部、いわき総合高校琴部、小名浜高校箏曲部(郷土芸能) 小名浜高校武城太鼓愛好会、相馬高校太鼓部、会津農林高校早乙女踊り保存クラブ  
(吟詠剣詩舞) 東日本国際大学附属昌平高校詩吟部、あさか開成高校



実技講習会 全国に向けて



総文祭 会場



総文祭 原町高校記念写真



総文祭 宿舎での練習風景



総文祭会場でのリハ

## 吟詠剣詩舞専門部

専門部委員長 大橋 未緒 〈東日本国際大学附属昌平高等学校〉

本県の吟詠剣詩舞専門部は、平成23年の創部以来、8年目となりました。詩吟とは、和歌や漢詩に節をつけて詠う古典芸能です。この文化を継承すべく、県高文連事務局のご指導のもと、県吟剣詩舞道総連盟のご支援と、各流派の先生方のご指導、さらに保護者の方々のご協力により、活動を行っています。

東日本国際大学附属昌平高等学校の詩吟部は、部活動として活動しています。県内各地において個人で活動している高校生と福島県合同チームを編成し、発表を行っています。「独吟」、「合吟」、「詩舞」、「剣舞」、「書道吟」がありますが、今年度は「独吟」と「合吟」の、吟詠のみの発表となりました。

以下、平成30年度の活動を報告いたします。

### 【第42回全国高等学校総合文化祭信州総文2018】

日 時：平成30年8月11日(土)

会 場：長野県須坂市・メセナホール

構成吟：「うつくしまふくしまを讃えて」

1. 独吟「野口英世記念館を訪ぬ」  
佐藤 和世 福島県立あさか開成高等学校
2. 独吟「須賀川城懐古」  
鈴木 雅 東日本国際大学附属昌平高等学校
3. 合吟「吹く風を」(千載集より)  
石井 花音 東日本国際大学附属昌平高等学校  
宍戸 葵 〃  
永久保友惟 〃
4. 合吟「八幡公勿来の関を過ぐるの図」  
樋田 樹太 東日本国際大学附属昌平高等学校  
秋山 祐毅 〃
5. 合吟「平城懐古」  
緑川明日香 東日本国際大学附属昌平高等学校  
馬目 美樹 〃



6. 独吟「嗚呼二本松少年隊」  
若林こころ 桜の聖母学院高等学校

【福島県吟剣詩舞道第52回白河大会】

日 時：平成30年10月13日(土)  
会 場：白河文化交流館コミネス

第2部 全国高等学校総合文化祭発表吟詠

1. 独吟「野口英世記念館を訪ぬ」  
佐藤 和世 福島県立あさか開成高等学校
2. 合吟「吹く風を」(千載集より)  
石井 花音 東日本国際大学附属昌平高等学校  
宍戸 葵 〃  
永久保友惟 〃
3. 合吟「八幡公勿来の関を過ぐるの関」  
樋田 樹太 東日本国際大学附属昌平高等学校  
秋山 祐毅 〃
4. 合吟「平城懐古」  
緑川明日香 東日本国際大学附属昌平高等学校  
馬目 美樹 〃
5. 独吟「嗚呼二本松少年隊」  
若林こころ 桜の聖母学院高等学校



【第8回三部門合同発表会】

日 時：平成30年11月23日(金)  
会 場：いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場

1. 独吟「野口英世記念館を訪ぬ」  
佐藤 和世 福島県立あさか開成高等学校
2. 独吟「飯盛山懐古」  
樋田 樹太 東日本国際大学附属昌平高等学校
3. 独吟「鶴ヶ城懐古」  
宍戸 葵 東日本国際大学附属昌平高等学校
4. 独吟「白虎隊」  
秋山 祐毅 東日本国際大学附属昌平高等学校
5. 独吟「平城懐古」  
緑川明日香 東日本国際大学附属昌平高等学校



おわりに、今年度は、日々の練習の成果が十分に発揮された素晴らしいものとなりました。今後とも、詩吟を通じて成長し、活躍することを期待しています。

## 郷土芸能専門部

専門部委員長 村田 和丈 (相馬農業高等学校)

郷土芸能専門部は、平成12年度に部門が立ち上げられた本県20番目の専門部です。設立当時は加盟校1校(相馬農業高等学校)でしたが、同年の県高校総合文化祭では、相馬高等学校、小高商業高等学校の協力を得て、郷土芸能を披露しました。

平成16年度の県高校総合文化祭会津大会より南会津高等学校が、その後、平商業高等学校、相馬高等学校が加盟、また平成26年度より埴工業高等学校、会津農林高等学校も加盟、平成27年度には小名浜高等学校が加盟し、現在7校となっています。

### 1. 組織

#### (1) 加盟校

「県南」埴工業高等学校

「会津」南会津高等学校・会津農林高等学校

「いわき」平商業高等学校・小名浜高等学校

「相双」相馬農業高等学校・相馬高等学校

#### (2) 組織

部会長 中野 幹夫 (相馬農業高等学校)

委員長 村田 和丈 (相馬農業高等学校)

### 2. 活動内容

#### (1) 平成30年度 福島県高等学校文化連盟 第8回三部門合同発表会に参加

○日時 平成30年11月23日(金)

○会場 いわき芸術文化交流館アリオス  
中劇場

○出場校

芸能伝承：福島県立会津農林高等学校  
早乙女踊り保存クラブ

和太鼓：福島県立小名浜高等学校  
武城太鼓愛好会

福島県立相馬高等学校 太鼓部

#### (2) 第42回全国高等学校総合文化祭長野大会 郷土芸能部門に参加

○日時 平成30年8月8日(水)～  
8月10日(金)

○会場 長野県伊那文化会館(伊那市)

○出場校 福島県立埴工業高等学校



## マーチングバンドバトントワリング専門部

専門部委員長 工藤 幸恵 〈郡山高等学校〉

平成30年度、マーチングバンドバトントワリング専門部は、マーチング部門においても、バトン(チアリーディング)部門においても昨年同様に全国的にみても輝かしい実績を残すことができ、本県高校生の素晴らしい活動を全国的に広められた年であったと思います。同時に発表会や講習会を含めて新しい取り組みをすることとなり、転機を迎えた年でもありました。

この専門部は10年前にスタートし、ふくしま総文にむけてのパレードを成功させるために、総文の2年前からマーチングバンドとバトントワリング両部門が協力し、合同で発表会を開催して参りました。途中、東日本大震災を経験しましたが、先生方の努力で発表会を継続して開催し、本年度で第10回の発表会を迎えることとなりました。第1回から参加している者としては感慨深いものがあり、先生方の思いも強かったと感じております。それと同時にこれまでの課題も浮き彫りになって参りました。それは、マーチングバンド、チアリーディングともに活動の規模が大きくなり、同時開催が難しくなってきたということです。発表会を同時に開催すると、お互い違った分野を観ることによって刺激を受け、今後の活動に活かすことができるというメリットがあります。このメリットが失われるのは勿体ないのですが、一方ではお互いの部門のより充実した発表やコーチングをしたいという要望があがり、今年度は初の試みとなる、別開催での発表会開催を行うことになりました。まず、9月14(金)に安積公民館にてマーチングバンド部門の発表会が開催されました。講師には鈴木沙由里先生をお迎えし、郡山北工業高校、帝京安積高等学校の2校が出演いたしました。両校とも熱のこもった演奏を披露しました。また、コーチングの時間にも十分に時間をかけることができ、充実した発表となりました。行

進の技術やフォーメーションを確かめ、広い会場での響きを確認するという意味でこの発表会は大変意義のあるものだと感じています。次にチアリーディング部門ですが12月8日(土)郡山カルチャーパークにて発表会を開催しました。

今年度より新たに磐城桜ヶ丘高校が加わり、7校の参加となり、活気溢れる会となりました。講師にはJCDAの下川さやか先生二ノ宮麻里先生の2名をお呼びして、午前中は各校の発表、午後はコーチングも行いました。100名を超える生徒たちの発表は年々レベルが向上し、見応えのあるものでした。午後のコーチングはレベル別にJAZZとPOMに分かれて行うことにより、内容の濃いコーチングをうけることができました。参加した生徒からも先生方からも大変好評で大成功のうちに幕を閉じました。

このようにして新たな試みの元で行われた第10回発表会ですが、これからも本県のレベルアップの為に無くてはならない発表会です。来年の発表会でも熱のこもった有意義な発表会になることでしょう。

12月16日にはとうほう・みんなの文化センターで活動優秀校公演が開催され、本専門部からも初の発表をさせていただくことになりました。福島高校、郡山商業高校、郡山高校のチアリーディングの生徒達による演技披露を行いました。クリスマス間近ということもあり、赤と緑のポンポンを持ち、合同チームでオープニングを披露した後、各校の演技が披露されました。このステージでチアリーディングやチアダンスとはどのようなものか、初めて知った高校生も多くいたようです。観客の皆様からは「カッコよかった!」「感動しました」と大好評でした。このような発表の場を与えて頂いたことに感謝したいと思います。

以上のように本年度は本専門部にとって大変有

意義な活動を行うことができました。チアリーディングでは各大会において全国優勝、入賞が成し遂げられ、福島県は全国的にも先進県になりつつあります。マーチングバンドでも演奏技術の向上が



9月14日実施 マーチングバンド発表会

実感でき、吹奏楽コンクールでも素晴らしい成果を挙げています。来年度も発表会、講習会をさらに充実したものにし、さらなる技術の向上をはかれる専門部の活動をしていきたいと考えております。



12月8日実施 チアリーディング発表会

## 美術・工芸専門部

専門部委員長 真柴 毅 (福島東高等学校)

平成30年度美術・工芸専門部は、県北19校、県南26校、会津12校、いわき12校、相双4校の合計73校で活動してきました。生徒の実情や要望に合わせて地区ごとに展覧会や実技講習会、美大説明会などを行い、様々な場面で研鑽とお互いの交流に努めています。

その中でも県全体の主要行事である「福島県高等学校美術展」は、福島県高等学校文化連盟発足以前の昭和49年から続いており、今年度で44回を数えました。県美術文化振興のため、高校生作品を展示発表して美術活動の振興を図るとともに、美術教育の向上に資することを目的に各地区持ち回りで開催しています。

絵画、彫刻、デザイン、映像メディアなどの300点に及ぶ作品展示に加え、専門家による講演会や、他地区の先生から作品を講評してもらう合評会を実施し、生徒にとってはその後の活動に生かせる様々な刺激を得る絶好の機会となっています。

また開催地区の生徒が、会場作成から展示作業、受付、そして合評会の運営などに主体的に関

わることによって、より実践的な能力と態度も育成しています。さらに次年度の全国高文祭出品作品もここから選抜されます。

今年度の高校美術展は、10月26日から10月28日まで会津若松市文化センターの特設展示場と展示室、練習室、文化ホールを会場に開催されました。部活動の作品を中心に密度の高い295点の作品が集まりました。

開会式当日、文化ホールで行われた講演会では、西会津町出身の東京藝術大学美術学部特任准教授伊藤達也先生に「つくること、みること。～美術が私たちに教えてくれること」と題して講演をいただきました。

美術館や博物館で作品を通して人と人をつなぐ様々なアートプロジェクトを手掛ける先生の言葉は、力強く生徒たちの心に響き、また多くの共感を呼び起こしました。

「人は自分のために努力するのは難しいが、誰かのためには努力することができる。」「作品は一人ではできない、現物と語る人がいて成り立って